

平成２２年度

(平成２２年８月１８日～平成２３年３月３１日)

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
事業報告

平成 22 年度一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 事業報告

1. 基本方針

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット（以下「当法人」という）は、平成 22 年 8 月 18 日に設立され、平成 22 年 10 月 1 日には温暖化対策推進法第 25 条に基づく全国地球温暖化防止活動推進センターの指定を環境大臣から受けた。

これにより国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった地球温暖化防止活動への取組みが一層求められていることを踏まえ、低炭素社会の構築に向け、当法人は、地域において地球温暖化防止活動を実施する団体に対し、その活動をより効果的なものとするため、技術的支援等を実施することにより、地球温暖化対策の推進を図ってきた。

2. 当法人の設立

（1）設立発起人会

日時：平成 22 年 8 月 10 日 午後 2 時から

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 第二ミーティングルーム

議事：第 1 号議案 設立趣意書について

第 2 号議案 一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット定款（案）について

第 3 号議案 会費について

第 4 号議案 平成 22 年度事業計画（案）について

第 5 号議案 平成 22 年度収支予算（案）について

第 6 号議案 役員等の選出について

第 7 号議案 運営委員会運営規程について

第 8 号議案 法人の事務所所在地について

第 9 号議案 設立代表者の選出及び登記申請事務に関する権限委任について

（2）設立登記手続き

平成 22 年 8 月 10 日の設立総会で承認された一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの登記手続きが東京法務局城南出張所において行われ、平成 22 年 8 月 18 日付けで当法人が設立された。

注：平成 23 年 3 月 1 日開催の第 1 回社員総会の議決に基づき定款の一部を変更（事務所所在地を東京都大田区から東京都千代田区に変更）

3. 運営管理

（1）第 1 回社員総会（平成 22 年度臨時総会）の開催

重要事項について正会員の意見等を聴くとともに所要の手続きを進めるため、第 1 回社員総会を次により開催した。

日時：平成 23 年 3 月 1 日（火） 午後 1 時 30 分～

場所：東京都千代田区神田美土代町3-1 三笠ビル フォーラム ミカサ 7階

議事：ア)社員総会規定を制定する件

イ)平成23年度正会員、準会員、賛助会員の会費を定める件

ウ)一般社団法人地球温暖化防止全国ネット定款の一部を変更する件

エ)平成22年度事業実施報告（案）及び収支決算見込（案）について

オ)平成23年度事業計画書及び収支予算書について

（2）理事会の開催

定款に定められた事項及びその他の重要な業務執行にかかる事項について審議し、当法人の円滑な運営に努めるため、理事会を次により開催した。

・第1回理事会

日時：平成22年8月24日(火) 午後4時～

場所：東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル2階

(株)フォーサイト貸会議室 第1教室

議事：報告事項

ア)法人設立手続きについて

イ)理事長印等の作成、銀行口座の開設等について

ウ)地域センターに対し、当法人の正会員、準会員として、入会を呼びかけることについて

議案

ア)理事長、専務理事を互選する件

イ)理事会規則を制定する件

ウ)組織規程を制定する件

エ)公印規程を制定する件

オ)運営委員会運営規程を制定する件

カ)事務局長及び重要な職員を承認する件

キ)全国地球温暖化防止活動推進センターの指定に係る申請書を提出する件

・第2回理事会

日時：平成22年9月30日(木) 午後2時30分～

場所：東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア

議事：報告

ア)全国センター指定について

イ)委託契約準備の状況

ウ)口座の開設について

エ)連絡会からの残余財産の受領（寄付）について

オ)短期金銭消費貸借契約について

カ)事務局体制について

キ)10月1日のスケジュールについて

議案

- ア)会員の入会を承認する件（定款第8条）
- イ)運営委員会委員を選任する件（定款第51条第2項）
- ウ)諸規程の制定について（定款第52条第4項、第53条第2項、第54条第2項）

・第3回理事会

日時：平成22年10月1日（木） 午後0時～

場所：東京都千代田区神田美土代町9-17 神田第三中央ビル5F
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット事務局

議事：議案

融資の承認を求める件

・第4回理事会

日時：平成22年10月25日（月） 午後1時～

場所：東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル2F
フォーサイト お茶の水校 第2教室

議事：報告

ア)第1回運営委員会について

イ)寄付について

ウ)うちエコ診断事業の進捗について

エ)ブロック会議の開催について

オ)自主事業の進捗及び実施体制と予算について

カ)賛助会員募集について

議案

ア)重要な職員の承認について（定款第52条第2項）

イ)運営委員会運営規程の一部改正について（規程第9条）

・第5回理事会

日時：平成22年12月20日（月） 午前10時30分～

場所：東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル2F
フォーサイト お茶の水校 第1教室

議事：報告

ア)八十二銀行からの融資について

イ)環境省事業委託契約に基づく概算払いについて

ウ)ブロック会議の開催結果について

エ)低炭素杯の進捗状況について

オ)平成23年度環境省の地域センター等関連予算について

カ)川崎市による川崎市センターの指定について

議案

ア)会員の入会の承認について（定款第8条）

イ)平成22年度事業計画の変更及び収支予算の補正について（定款第46条第1項）

り)一般社団法人地球温暖化防止全国ネット公印規程の一部改正について(定款第52条第4項)

・第6回理事会

日時：平成23年1月18日(火) 午後1時30分～

場所：東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館 202号室

議事：報告

ア)環境省事業委託契約に基づく概算払いと借入金の返済について

イ)第2回運営委員会の開催について

ウ)低炭素杯の開催について

エ)法人の広報について(HPの立ち上げ、情報誌の発行)

議案

ア)会員の入会を承認する件(定款第8条)

イ)社員総会を開催する件(定款第36条第1項第1号)

ウ)平成23年度事業計画(案)に関する件(定款第46条第1項)

・第7回理事会

日時：平成23年2月21日(月) 午後1時30分～

場所：東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル2F フォーサイトお茶の水校 第1教室

議事：報告

ア)低炭素杯の開催について

イ)臨時ブロック会議の開催について

議案

ア)会員の入会を承認する件(定款第8条)

イ)第1回社員総会議案書(案)に関する件(定款第36条第1項第1号)

ウ)第2回社員総会の開催に関する件(定款第36条第1項第1号)

エ)一般社団法人地球温暖化防止全国ネット給与規程の改正に関する件

カ)一般社団法人地球温暖化防止全国ネット育児・介護休業等に関する規程の制定に関する件(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット就業規程第21条)

ク)一般社団法人地球温暖化防止全国ネット旅費規程の一部改正に関する件

(3) 運営委員会の組織化と開催

運営委員会を組織化し、当法人の運営について委員の意見を聞きつつ、業務の執行、運営に反映させることとした。

①運営委員会の構成

西岡 秀三 国立環境研究所 特別客員研究員

大久保規子 大阪大学大学院法学研究科 教授

関 正雄 株式会社損害保険ジャパン株式会社 理事 CSR統括部長

早川 光俊 NPO 法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議

(CASA) 専務理事

福岡真理子 秋田県センター事務局長 (NPO法人環境あきた県民フォーラム)
服部乃利子 静岡県センター事務局長 (NPO法人アースライフネットワーク)
南 孝 石川県センター事務局長 (社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議)
伊東 真吾 京都府センター事務局長 (NPO法人京都地球温暖化防止府民会議)
中平 徹也 岡山県センター事務局長 (財団法人岡山県環境保全事業団)
石田 達也 宮崎県センターセンター長 (NPO法人宮崎文化本舗)
久保田 学 北海道センターセンター次長 (財団法人北海道環境財団)
阿部 泰之 東京都センターセンター長 (財団法人東京都環境整備公社)

②運営委員会の開催

・第1回運営委員会

日時：平成22年10月25日(月) 午後3時～

場所：東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル2F

フォーサイト お茶の水校 第2教室

議事：ア)委員紹介

イ)委員長選任

ウ)全国ネットの設立と組織運営体制

エ)平成22年度後期事業(含む法人運営スケジュール)

オ)平成23年度事業(環境コンシェルジュ事業)への対応

・第2回運営委員会

日時：平成23年2月2日(水) 午後1時30分～

場所：東京都千代田区神田須田町1-2-7 淡路町駅前ビル2階

情報オアシス神田(淡路町スペース)

議事：ア)第1回社員総会の開催

イ)環境省平成23年度地域センター関係予算について

ウ)低炭素杯の開催について

エ)平成23年度事業計画(案)について

オ)その他

4. 全国地球温暖化防止活動推進センターの指定申請と指定

環境省が温暖化対策推進法第25条に基づく全国地球温暖化防止活動推進センターの指定について、環境省から指定を受けたい団体の公募の公示があったので、当法人は申請書を作成し、平成22年8月31日指定を受けるべく申請を行った。

その結果、平成22年10月1日付けで環境大臣から「全国地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受けた。

5. 全国地球温暖化防止活動推進センター事業の推進

平成 22 年 10 月 1 日付けで温暖化対策推進法第 25 条に基づく全国地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けたことを踏まえ、その責務と役割を果たすため、次の事業を円滑かつ的確に行った。

(1) 平成 22 年度地域地球温暖化防止活動推進センター支援事業（後期）

①地域センター等ブロック会議の開催等

地域センターによる平成 22 年度環境省補助事業を中心とした温暖化防止活動の実施状況や活動実績を、それぞれのブロック毎に報告・検討を行い、より効果的な事業内容の策定・実施を図るとともに、全国センターとして地域センターの活動状況の把握に努めることを目的に、地域センター、環境省、地方環境事務所、全国センター、自治体等及び関連団体の参加による「ブロック会議」を、各地方環境事務所（東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州の 6 ブロック）等において開催した。

1) 第二回ブロック会議（注：旧 J C C C A が 6 月に第 1 回を開催）

平成 22 年度地域地球温暖化防止活動推進センター支援事業第 2 回ブロック会議を各地域センター、都道府県市、地方環境事務所、環境省の参加を得て次のとおり開催した。

ア) 実施日及び会場

北海道・東北ブロック

日時：平成 22 年 12 月 8 日（水） 14 時～17 時

場所：宮城県地球温暖化防止活動推進センター 会議室

関東ブロック

日時：平成 22 年 12 月 9 日（木） 13 時～17 時

場所：航空会館（東京都港区新橋 1-18-1） 502 会議室

中部ブロック

日時：平成 22 年 12 月 6 日（月） 14 時～17 時

場所：中部地方環境事務所 会議室

近畿ブロック

日時：平成 22 年 12 月 3 日（金） 14 時～17 時

場所：近畿地方環境事務所 会議室

中国・四国ブロック

日時：平成 22 年 12 月 1 日（水） 13 時～17 時

場所：中国・四国地方環境事務所 会議室

九州ブロック

日時：平成 22 年 12 月 2 日（木） 14 時～17 時

場所：九州地方環境事務所 会議室開催日

イ) 議題等

a) 平成 22 年度補助事業について

- ・事業進捗状況について
- ・事業実施に係る留意点等（実績報告作成等）について

b) 平成 23 年度予算要求状況について

c) 全国センターから

- ・全国センター事業（地域センター支援委託事業）について
- ・うちエコ診断事業にかかる全国センターの取り組み状況と今後の展開方策について

d) その他

- ・一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの組織体制と今後スケジュール
- ・「低炭素杯ー低炭素地域づくり全国フォーラム」の開催について
- ・その他

2) 臨時ブロック会議

平成22年度地域地球温暖化防止活動推進センター支援事業臨時ブロック会議を各地域センター、地方環境事務所の参加を得て次のとおり開催した。

ア) 実施日及び会場

北海道・東北ブロック

日時：平成23年2月14日（月） 13時～16時

場所：宮城県地球温暖化防止活動推進センター 会議室

関東ブロック

日時：平成23年2月17日（木） 14時～17時

場所：パイオランドホテル会議室「赤城」

中部ブロック

日時：平成23年2月8日（火） 13時～16時

場所：新大阪丸ビル本館（大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-5） 511号会議室

近畿ブロック（③中部ブロックと同時開催）

日時：平成23年2月8日（火） 14時～17時

場所：新大阪丸ビル本館（大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-5） 511号会議室

中国・四国ブロック

日時：平成23年2月14日（月） 13時～16時

場所：中国・四国地方環境事務所 会議室

九州ブロック

日時：平成23年2月16日（水） 13時～16時

場所：九州環境管理協会 会議室

イ) 議題等

a) 平成23年度事業について

- ・地域で活動するNPO支援・連携促進事業について
- ・家庭エコ診断推進基盤整備事業について

b) うちエコ診断事業について

- ・全国センターの実施状況について
- ・実施状況とその結果のとりまとめについて

c) その他

- ・低炭素杯について
- ・その他

②「地球温暖化防止活動推進センター便覧」の作成、発行

全国センター及び地域センター間の情報共有等に資するため、「平成２２年度地球温暖化防止活動推進センター便覧」を作成し、環境省及び各地域センターに配布した。

発 行：平成２２年１１月

部 数：２００部

配布先：地域センター、環境省、地方環境事務所、指定を行っている都道府県市他

③地域センター事業支援業務

地域センターが本年度に実施している、環境省補助事業である下記事業について、以下のとおり支援を行った。

１）「家庭部門における削減診断事業」及び「家庭部門における削減アドバイス事業」支援

ア) うちエコ診断事業推進委員会及びワーキンググループの設置・運営等

「家庭部門における削減診断事業」及び「家庭部門における削減アドバイス事業」を実施する地域センターに対する支援のあり方、全国展開を見据えた事業運営のあり方等を検討するため、外部有識者と地域センター職員をオブザーバーとして加えた「うちエコ診断事業推進委員会」（以下「推進委員会」という。）を設置し、推進委員会の事務局業務を行った。

また、推進委員会の作業チームとして、推進委員会メンバーから構成し、「事業方策検討ワーキンググループ」、「診断ソフト検証ワーキンググループ」、「効果測定ワーキンググループ」の３つのワーキンググループを設置した。

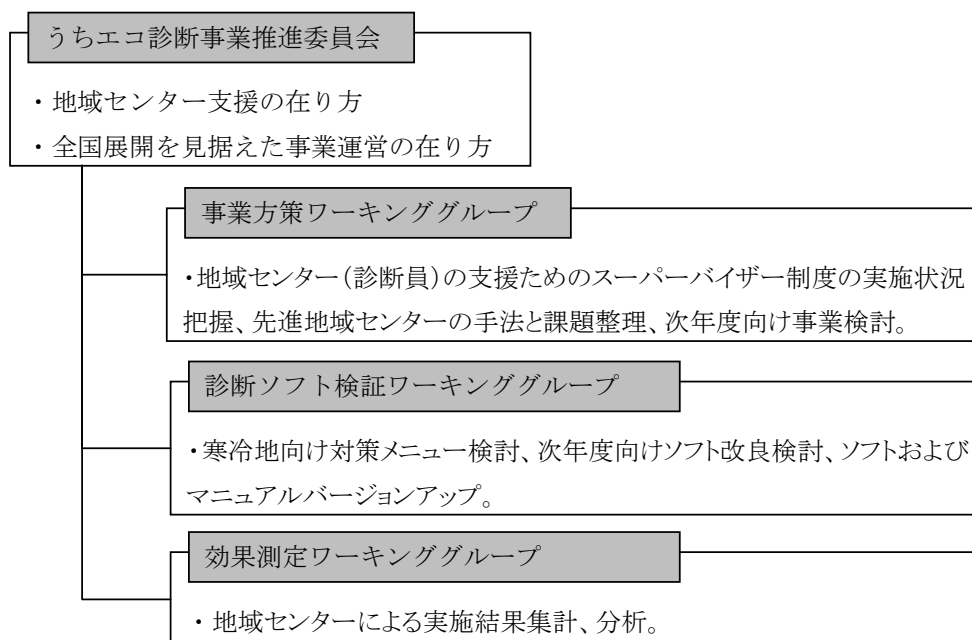


図 推進委員会及びワーキンググループの構成

ア) 推進委員会の構成

<委員一覧>

(敬称略；五十音順)

氏 名	所 属	役 職
下田 吉之	大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻	教授
本藤 祐樹	横浜国立大学大学院環境情報研究院	准教授
松尾 雄介	(財)地球環境戦略研究機関関西研究センター	政策研究員
三浦 秀一	東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科	准教授
山田 芳幸	(株)エックス都市研究所サステナブルデザイン部	部長

<オブザーバー一覧>

(敬称略)

氏 名	所 属	役 職
久保田 学	北海道地球温暖化防止活動推進センター	センター次長
福岡 真理子	秋田県地球温暖化防止活動推進センター	事務局長
増渕 弘子	栃木県地球温暖化防止活動推進センター	事務局長
服部 乃利子	静岡県地球温暖化防止活動推進センター	事務局長
伊東 真吾	京都府地球温暖化防止活動推進センター	事務局長
泉 美江子	兵庫県地球温暖化防止活動推進センター	センター次長
鈴木 靖文	(有)ひのでやエコライフ研究所	代表取締役

また、ワーキンググループのメンバーとなる委員及びオブザーバーの一覧を次に示す。

<各ワーキンググループ委員及びオブザーバー一覧>

ワーキンググループ名	委員	オブザーバー
事業方策検討 ワーキンググループ	下田吉之委員 本藤祐樹委員 山田芳幸委員	久保田学(北海道センター) 増渕弘子(栃木県センター) 伊東真吾(京都府センター)
診断ソフト検証 ワーキンググループ	下田吉之委員 松尾雄介委員 三浦秀一委員	福岡真理子(秋田県センター) 伊東真吾(京都府センター)
効果測定 ワーキンググループ	松尾雄介委員 山田芳幸委員	服部乃利子(静岡県センター) 伊東真吾(京都府センター) 泉美江子(兵庫県センター)

b) 推進委員会の開催

○第1回うちエコ診断事業推進委員会

日時：平成22年12月5日（日）午後2時～午後4時

場所：大阪駅前第3ビル ティーオージー貸会議室 17F 6号室

議事：・地球温暖化防止活動推進センターでの実施状況

・平成22年度後期事業について

- ・個別課題について
- ・環境コンシェルジュについて
- ・その他について

○第2回うちエコ診断事業推進委員会

日時：平成23年1月14日（金）午前10時～午後0時

場所：航空会館会議室204号室

議事：・家庭エコ診断推進基盤整備事業について

- ・全国センターからの事業進捗について
- ・各ワーキンググループからの報告について
 - ▽事業方策検討ワーキンググループ
 - ▽診断ソフト検証ワーキンググループ
 - ▽その他について

○第3回うちエコ診断事業推進委員会

日時：平成23年3月9日（火）午後1時～午後3時

場所：航空会館会議室202号室

議事：・平成22年度事業実施結果報告

- ・各ワーキンググループからの報告について
 - ▽業推進方策検討ワーキンググループ
 - ▽診断ソフト検証ワーキンググループ
 - ▽効果測定ワーキンググループ

イ) うちエコ診断ソフト管理・改良等の実施

「家庭部門における削減診断事業」及び「家庭部門における削減アドバイス事業」を支援するために、財団法人地球環境戦略研究機関が著作権を有する「うちエコ診断」ソフトの無償貸与を受けて地域センターに提供を行った。

さらに、うちエコ診断事業推進委員会や外部有識者の指導・アドバイスを受け、診断ソフトの改良（都道府県ごとの気候条件に合わせた対策メニューの追加、最新環境機器の情報更新、診断アルゴリズムの検証及びその結果の反映等の改良）及び診断ソフトマニュアル、診断員養成講座資料等の作成と事業実施上の体制整備を行った。

改良を加えた診断ソフトや診断ソフトマニュアル、地域センターで作成している診断員養成講座資料、各種最新情報等の資料は、地域センターが閲覧可能かつ必要な情報を随時ダウンロードできるよう、ウェブサイトを活用した体制を整備した。

ロ) うちエコ診断事業外部PR用ウェブサイトの開設

また、外部（個人、企業、自治体等）向けのPR用ウェブサイトを構築し、当該事業及び温室効果ガス削減効果等の情報提供に努めた。

エ) 効果測定

効果測定の手法に関しては、地域センターでの実施成果が適切に評価できるものとし、調査票および集計・分析のツールを作成し、地域センターに提供した。

うちエコ診断事業での効果測定では「うちエコ診断効果測定ソフト」を作成し、地域センターに提供した。効果測定の全体の流れは、下図の通りとした。

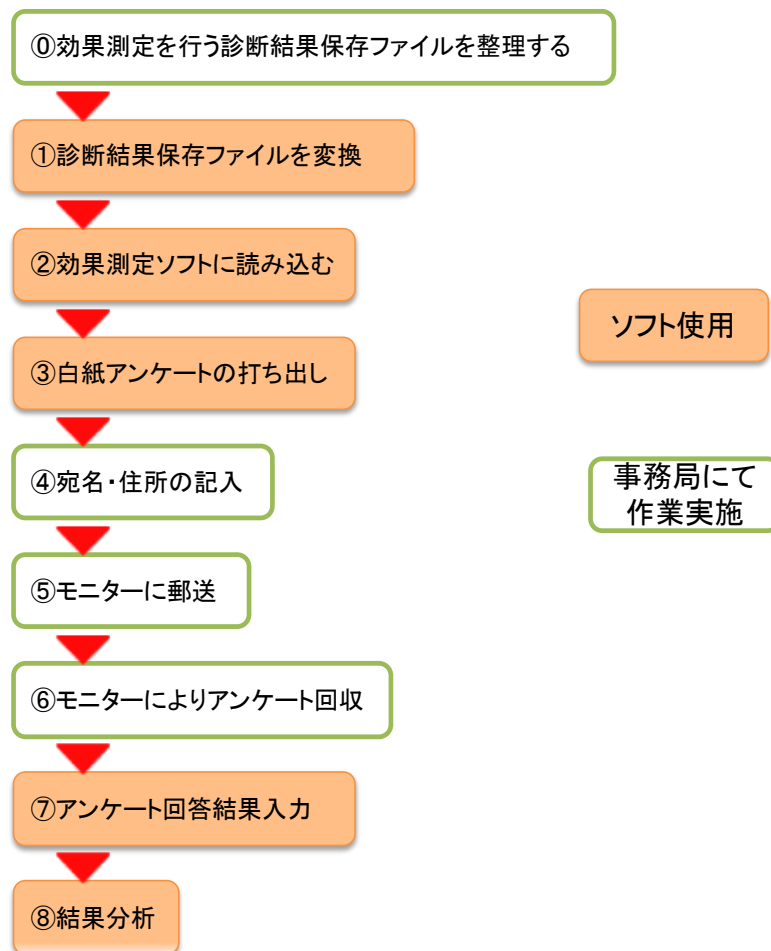


図 効果測定の流れ

㊦ 地域センターに対する現地調査及びアドバイザー派遣

地域センターの実施するうちエコ診断事業関連の支援として当該事業にかかる進捗管理及び課題の抽出・整理のため、うちエコ診断員養成や診断実施状況の現地調査及び協議を実施した。

また、地域センターによるうちエコ診断員養成及び診断実施支援のため、「うちエコ診断・相談事業スーパーバイザー（以下「スーパーバイザー」という）制度を構築し、知見を有する外部有識者をスーパーバイザーとして登録・委嘱を行い、地域センターからの要請を受けて、派遣・指導を行った。スーパーバイザー派遣実績については、以下の表に示す。スーパーバイザー派遣制度のイメージは次のとおりである。

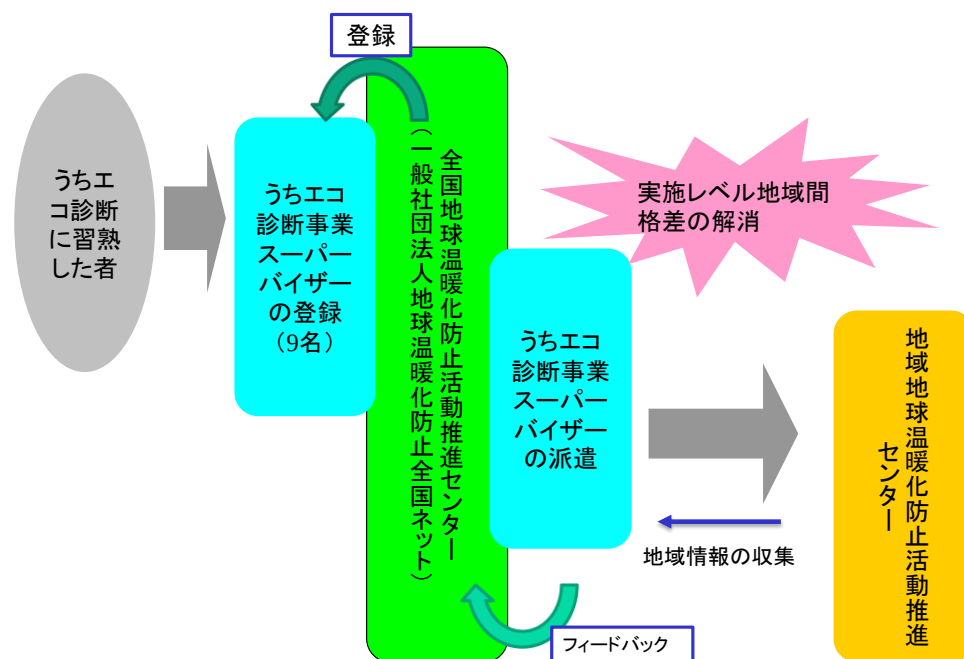


図 スーパーバイザー派遣制度のイメージ

表 うちエコ診断スーパーバイザー派遣状況

No	日程	対象：地域センター等	実施場所	診断員 相談員	受診者	派遣した スーパーバイザー数
1	11月6日(土) 7日(日) 10:00-16:00	埼玉県センター 神奈川県センター	イベントブース	13名	15名	2名
2	11月13日(土) 14日(日) 10:00-16:00	岡山県センター	イベントブース	17名	100名	3名
3	11月14日(日) 16:30-20:00	北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県のセンター	意見交換会	なし	なし	1名
4	11月28日(日) 13:30-16:30	神奈川県センター	講演会	30-40名	なし	1名
5	11月29日(月) 9:30-12:00	※環境省樋高政務官への診断実施	環境省 政務官室	なし	1名	1名
6	12月2日(木) 12:00-14:00	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の各センター	意見交換会	なし	なし	1名
7	12月3日(金) 4日(土) 9:30-15:30	栃木県センター	イベントブース	12名	12名	2名

No	日程	対象：地域センター等	実施場所	診断員 相談員	受診者	派遣した スーパーバイザー数
8	12月11日（土） 13:00-16:00	広島県センター	スキルアップ講座	24名	なし	1名
9	12月15日（水） 13:00-15:00	※三菱総研が対象	うちエコ診断説明	なし	なし	1名
10	12月23日 （木・祝） 13:00-16:00	埼玉県センター	スキルアップ講座	10名	なし	2名
11	1月22日（土） 13:00-16:00	岩手県センター	スキルアップ講座	10名	なし	3名
12	2月2日（水） 12:30-16:30	茨城県センター	集団診断	6名	12名	2名
13	2月8・9日（水） 10:00-12:00	鹿児島県センター	集団診断	2名	5名	1名
14	2月11日（金・祝） 10:00-16:00	香川県センター	イベントブース	2名	未定	1名
15	2月12日（土） 9:30-16:30	栃木県センター	集団診断	7名	13名	1名
16	2月17日（木） 12:00-17:15	大阪府センター	スキルアップ講座	18名	なし	1名
17	2月18日（金） 13:30-16:30	長崎県センター	スキルアップ講座	17名	なし	1名
18	2月21日（月） 14:00-17:00	静岡県センター	スキルアップ講座	26名	なし	1名
19	2月22日（火） 12:30-17:30	群馬県センター	集団診断	2名	10名	1名
20	2月22日（水） 13:00-16:00	群馬県センター	講演会	5名	5名	1名
21	2月24日（水） 13:00-16:00	埼玉県センター	集団診断	未定	未定	1名
22	2月26日（土） 14:00-17:00	富山県センター	スキルアップ講座	20名	なし	1名
23	2月26日（土） 10:30-16:00	和歌山県センター	イベントブース	2名	未定	1名
24	2月27日（日） 9:00-17:00	宮城県センター	スキルアップ講座	10	なし	2名
25	2月28日（月） 12:00-17:00	奈良県センター	スキルアップ講座	10	なし	1名

か)実施状況の取りまとめ及び全体説明会の開催

地域センターにおける両事業の実施内容（うちエコ診断員の募集、養成、診断、診断後のフォローアップの実績、事業実施上の問題点等）について情報を収集・整理し、その実施結果を「平成22年度うちエコ診断事業成果報告書」にまとめた。

また、地域センターに対する両事業の全体説明会を開催し、情報提供、意見交換等を実施した。

○うちエコ診断・相談事業全体説明会の開催

実施目的

平成22年度において地域センターによるうちエコ診断・相談事業実施結果についてJCCCA、地域センター、スーパーバイザーからの報告を行った。さらに、地域センター職員、診断員・相談員を交えて、意見交換を実施し、今年度事業の総括を行う予定であったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の発生により中止した。

実施概要

日時：平成23年3月14日（月）午後1時30分～午後3時30分

場所：国立オリンピック記念青少年センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

対象：うちエコ診断・相談事業を実施している地域センター職員、地域センターで養成した診断員・相談員

参加者数：150人（予定）

内容：・JCCCAによるうちエコ診断・相談事業実施状況についての報告

ーうちエコ推進委員会による検討内容についての報告

ー地域センターにおけるうちエコ診断・相談事業実施結果についての報告

・地域センターによる事業実施事例報告

・スーパーバイザーによる活動結果報告

・平成22年度うちエコ診断・相談事業に関する意見交換

2)「推進員派遣事業」及び「連携強化事業」支援

ア)推進員派遣事業実施状況調査及び支援

地域センターの実施する「推進員派遣事業」における進捗管理及び課題の抽出・整理を目的とした、ウェブサイトその他を活用した状況調査及び情報提供を実施するほか、推進員派遣事例集の活用指導及び協議を以下のとおり実施した。

○佐賀県センターにおける調査

実施概要

日時：平成22年12月22日（水）18時30分～20時30分

場所：佐賀市民プラザ5F（佐賀市駅前中央1丁目8-32）

概要：平成22年度地球温暖化防止活動推進員派遣評価事業検討会第3回検討会の場において、佐賀県センターにおける推進員派遣評価の方法に関する情報収集を行った。

地域センターに対して調査票を配布しアンケートを実施して推進員派遣事業および連携強化事業の実施結果をとりまとめた。

イ) ウェブサイト等を活用した連携強化支援及び事例調査報告書等の作成

各地域センター職員同士の意見交換、情報提供などのコミュニケーションを目的として、ウェブサイト(<https://www.on-community.jp/jccca.php/>) (JCCCA コミュニケーション) を構築した。

また、地域センターの実施する「連携強化事業」等に関する成果測定手法について、以下に示す事例調査を行い、取りまとめを行った。

○第1回事例調査(秋田県センター)

目的

ラジオのゲストの方の周辺における行動変化調査方法の検討

実施日時・場所

日時：平成23年2月1日(火)13:00～15:00

場所：秋田県センター（秋田市上北手荒巻字境切24-2 遊学舎内）

○第2回事例調査(北海道センター)

目的

ラジオのゲストの方の周辺における行動変化調査方法の検討

実施日時・場所

日時：平成23年2月23日(水)13:00～15:00

場所：北海道センター（北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階）

○第3回事例調査（佐賀県センター）

目的

普及啓発活動による行動変化調査方法の検討

実施日時・場所

日時：平成23年2月23日(水)13時～15時

場所：佐賀県センター（佐賀県佐賀市）

ウ) 成果測定手法のとりまとめ

成果測定手法は、地球温暖化防止に関する様々な普及啓発事業等に共通する課題である。ここでは、次図に示す推定手順に従って、(i) 調査時期の決定、(ii) 調査項目の検討、(iii) 質問票の作成（回答の方式）について検討を行い、検討結果を手引書として取りまとめた。

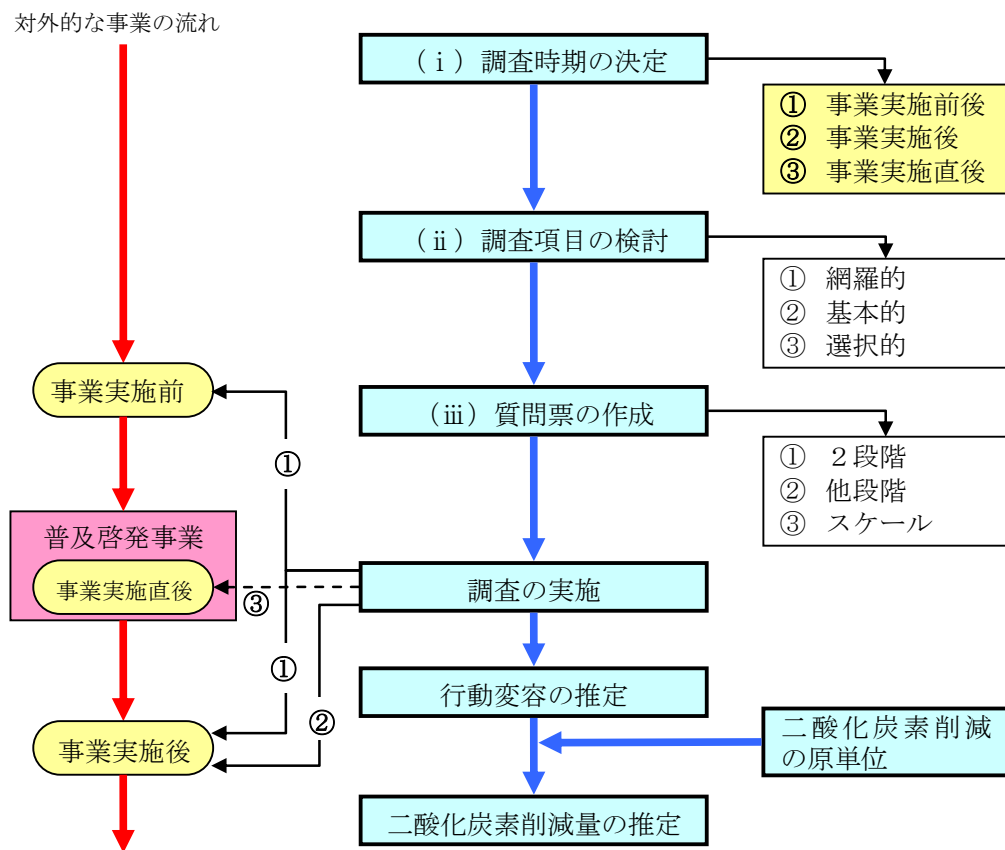


図 行動変容による二酸化炭素削減効果の推定手順

エ) 事業評価手法に関する説明会

実施目的

推進員派遣評価事業および地域連携強化事業を実施している地域センター職員を対象に、平成 22 年度の事業評価に活用してもらうことを目的に「事業評価の手引き」および「0n コミュ」の概要および活用方法について説明を行った。

実施概要

日時：平成 23 年 2 月 7 日（月）午前 10 時～午後 0 時

場所：航空会館会議室 B101 室

対象：推進員派遣評価事業および地域連携強化事業を担当している地域センター職員

講師：神奈川大学 松本安生教授

参加者数：50 人

内容：・JCCCA への事業結果報告のお願いについて

- ・「事業評価の手引き」を活用した評価手法について
- ・0n コミュにおける事業評価の相談について
- ・質疑応答

3) 新設地域センター等支援業務

ア) 新設及び新設予定地域センター支援

平成 22 年度後期において新たに指定された次の地域センター並びに指定を行った自治体に対し、地域センターとしての事業実施方法、他の地域センターの活動状況、全国センターとの連携に関する情報提供を行った。

また、上記地域センターにおける温暖化防止活動事業の円滑な実施に資するため、各地域における課題の抽出・整理及び先進的な地域センターの取り組み事例の紹介等、情報及び意見交換を通じた支援を実施した。

○新設地域センター及び指定を行った自治体

川崎市センター／川崎市環境局

○地域センターの新たな指定を予定している自治体に対する支援

横浜市地球温暖化対策事業本部

イ) 既存地域センター支援及び連絡調整

上記 ア) の業務のほか、地域センター運営に係る課題を抽出・整理し、情報共有を図るとともに、全国センター及び地域センター間並びに地域センター間等の円滑な連携を図るため、各ブロックのセンターの参加による次の連絡調整会議を開催した。

○九州ブロック連携調整会議

日 時：平成 22 年 12 月 2 日（木）12 時～13 時 30 分

場 所：九州地方環境事務所

出席者：福岡県センター、佐賀県センター、長崎県センター、大分県センター、熊本県センター、宮崎県センター、鹿児島県センター、全国センター、うちエコ診断スーパーバイザー（宮本）

内 容：うちエコ診断事業に関わる意見交換

うちエコ診断に関する課題整理とスーパーバイザーによる助言

○北海道・東北ブロック連携調整会議

日 時：平成 22 年 12 月 8 日（水）11 時～12 時

場 所：宮城県センター会議室

出席者：北海道センター、岩手県センター、秋田県センター、宮城県センター、山形県センター、全国センター

内 容：うちエコ診断における寒冷地対策メニューの検討

④地球温暖化関連情報等の調査及び情報サイト運営業務

地球温暖化問題に関する最新情報などを全国に情報発信するため、次の図に示すような情報サイト（ウェブサイト）の運営を行った。併せてこれらの情報を配信・享受することが可能なウェブ環境を整備するとともに、情報セキュリティの向上に資する適正なウェブ環境の整備・運営を行った。



図 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (www.jccca.org)

発信する情報に関しては適宜更新及び追加することとし、国、自治体、各地域センター、企業、海外等における先進的な温暖化防止のための取り組み等の調査及び情報収集、各種情報素材の制作及び管理、身近で実践できる温暖化防止の取り組みや各種環境イベントの紹介、温暖化関連ニュースの配信、インターネット及び電話による問い合わせ対応等を実施した。

1) 主なコンテンツと更新状況 ※2月15日までのデータ

- ・「JCCCA からのお知らせ」（更新 14 件）
 - ⇒ JCCCA が関連する情報を掲載
- ・「温暖化関連ニュース」（更新 15 件）
 - ⇒ 環境省や都道府県センターなどからの温暖化関連情報を掲載
- ・「イベント情報」（更新 57 件）
 - ⇒ 全国各地で開催される温暖化防止関連を中心としたイベント情報を掲載
- ・「すぐ使える図表集」（更新 7 件）
 - ⇒ 毎年更新されるデータ（温室効果ガスインベントリオフィスなど）をもとに 7 件の図表を整備・更新し公開した。

2) 新設ページ

- ・「COP16 特設ページ」

2010 年 11 月 29 日から 12 月 10 日まで開催された、気候変動枠組条約第 16 回締約国会議（COP16）に関する情報を掲載。早川光俊氏（地球環境と大気汚染を考える

全国市民会議（CASA）専務理事）、阿部育子氏・江刺家由美子氏（宮城県温暖化防止センター）の寄稿による現地からのレポートを掲載した。



図 COP16 特設ページ

・「うちエコ診断ページ」

うちエコ診断事業の様子、仕組みや効果に関する情報を掲載した。



図 うちエコ診断ページ

・「家庭ですぐ出来る節電 21 ページ」

東北地方太平洋沖地震の発生に伴い、東京電力管内の電力不足にすぐに対応できる節電対策情報ページを作成し掲載した。地震発生直後（3月14日）に掲載したため、直後にアクセス数が伸びたうちエコ診断事業の様子、仕組みや効果に関する情報を掲載した。

・ 掲載している内容
使える素材集
・ 貸出ツール
・ パンフレット・パネル
・ すぐ使える図表集
・ 温暖化写真集
・ 関連団体リンク集
よくある質問
・ よくある質問
JCCCAについて
・ JCCCAについて・地図
事業内容
・ これまでの事業内容

このリストの節電について	・ 現在の震災の状況に対応しています。 ・ 家庭ですぐに出来る対策を優先しているため、省エネ家電等への買い替えは除いています。 ・ 冬期における対策を中心にしています。 ・ 対策項目は、うちがエコ診断事業の対策効果にもとづく提案となっています。 ・ 「使用削減1時間あたりの削減消費電力量の目安（Wh）」は、「平成22年度うちがエコ診断事業」において、東京電力管内の県で実施した240世帯の削減実績にもとづき算定しています。 ・ 削減消費電力量はあくまで目安で、機器によって相違があります。
--------------	--

対象	分野	対策	使用削減 1時間あたりの 削減消費 電力量の目安 （Wh）
リビング	暖房 （注1,2）	1. 暖房の温度設定を控えめ（20℃）にする。	419
		2. こたつやホットカーペットなどの部分暖房を活用する。	511
		3. 暖房時に、窓に空気層のある断熱シートを貼る。	232
		4. 暖房時にカーテンを閉める。	100
		5. エアコンのフィルターを掃除する。	53
		6. 暖房の使用時間を可能なかぎり短くする（就寝前1時間消すなど）。	1,665
		7. 暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする。	362
		8. 暖房時に家族がいっしょの部屋で過ごす。	1,790

3) アクセス状況調査及びデータ解析(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

表 全国センターウェブサイトへのアクセス状況

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
ページビュー数	288,062	291,492	232,679	289,040	237,697	175,768	252,456
訪問者	42,870	45,572	39,839	46,530	43,652	37,930	42,7327
新規訪問者率	64.15	61.38	58.82	62.47	69.17	68.47	64.08
サイト全体への直帰率	45.75	47.61	51.02	47.64	50.45	54.23	49.45
平均ページビュー数	6.72	6.4	5.84	6.21	5.45	4.63	5.88
平均滞在時間	4:19	4:24	3:57	4:18	3:42	3:03	3:56

表 アクセス数の多いページ（上位 5 種類）

順位	ページ	アクセス (件)	アドレス
1	すぐ使える図表集	140,994	http://www.jccca.org/chart/
2	地球温暖化とは	132,170	http://www.jccca.org/global_warming/
3	日本の動向	42,777	http://www.jccca.org/trend_japan/
4	地球温暖化の原因と予測	31,400	http://www.jccca.org/global_warming/knowledge/kno02.html
5	世界の動向	26,960	http://www.jccca.org/trend_world/

⑤地域活動支援ツール活用業務

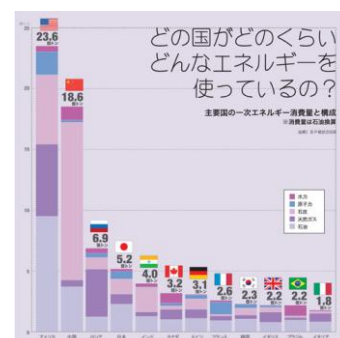
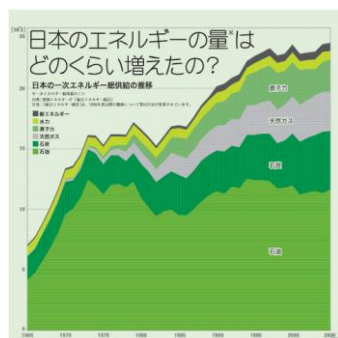
1) 地域活動支援ツールの更新及び制作

地域に根ざした温暖化対策の活動を支援するため、既存の地域活動支援ツールについて、地球温暖化による国内外の影響や最新の科学的知見を調査した上で校正・データの更新、制作等を行うとともに、地域センター、地球温暖化防止活動推進員、うちエコ診断員等に対し、インターネットを活用した情報提供が行えるよう、随時ウェブサイトの更新・整備を行った。

ア) データの更新を行ったツール

- ・A02-01「持てるかな？エネルギーのかばん」図表 2 点、プログラムシートの更新など
- ・A03-04「エコのタネをみつけよう」図表 2 点、プログラムシートの更新など
- ・A05-01「PET ボトルのできるまで」図表 2 点、クイズデータの更新など
- ・F01「さまざまな温度タペストリー」温度データ
- ・F07「CO2 タペストリー」CO2 排出関係データ

図 データの更新を行ったツールの例（A02-01）



イ) 追加制作したツール

下記、地域活動支援ツールの貸出において要望の高かったツールを中心に以下のツールの追加制作を行った。

- ・ A01-02 「敏感な私たち」 追加 1 セット
- ・ A01-03 「地球が病気？」 追加 1 セット
- ・ A18-01 「僕らの未来基準～マイ☆アレンジ～」 追加 1 セット
- ・ A19-01 「ひと×しごと＋おんだんか」 追加 1 セット

2) 地域活動支援ツールの貸出及び活用指導

全国センターにおいて管理している地域活動支援ツールについて、地球温暖化防止を目的としたイベントやセミナーなどの実施を予定している地球温暖化防止活動推進員及び団体（地域センター、地方公共団体、NPO・NGO、企業等）から行事の趣旨や使用目的を確認した上で、貸出を行った。

ア) 貸出状況について

ア) 月別貸出件数について

今年度下半期のツール貸出件数は、120 団体、ツール数 335 件であった。11 月が特に多い理由は、12 月の温暖化防止月間に向けて事前に申込みをしたことによる件数と考えられた。月別の貸出件数（団体数）の推移を次図に示す。

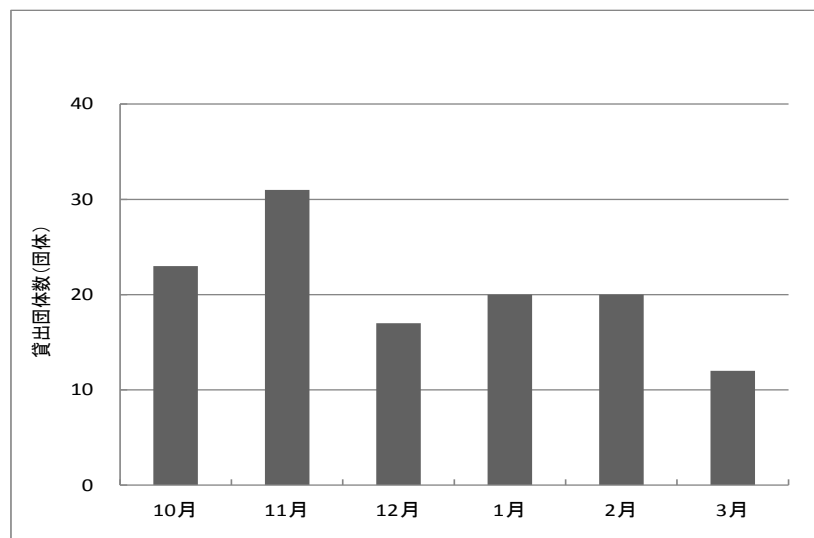


図 貸出件数の推移

バ) 貸出利用団体内訳について

貸出利用団体内訳は次図に示す通り、企業と推進員・NPO が共に 28% となり、全体の約 60% を占めている。また、センターが 7% と少ない理由は、現地域センター数の 8 割以上が、既にツールのデータをコピーし複製して活用していることが関係していると推測された。

貸出利用団体割合
(H22年度下半期)

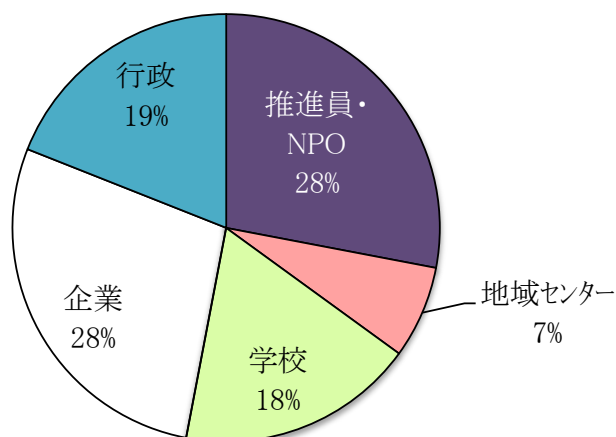


図 貸出利用団体の内訳

c) 貸出件数の多いツールベスト5

次表に示す通り、参加型のプログラムがついている A ツールを中心とした貸出件数が多かった。特に、ツールの使い方の解説映像がついているツールに関しては特に件数が多かった。ほか、タペストリーや DVD も件数が多く、特に F09「ホッキョクグマ」はタペストリーの中で最も貸出件数が多かった。

表 貸出件数の多かったプログラム

順位	プログラム
1	A02-01「持てるかな？エネルギーのかばん」
2	A01-02「敏感な私たち」
3	A03-04「エコのタネをみつけよう」
4	A01-03「地球が病気!？」
5	A07-03「食べものをめぐる物語」

イ) ツール活用の指導

地域センター等の要望に応じて、主に地域センター職員や地球温暖化防止活動推進員、うちエコ診断員等を対象に、地域活動支援ツールのより有効な活用手法等のノウハウを伝えるため、各地域における現地指導を実施した。

a) 香川県センター

日時：平成 23 年 2 月 10 日（木）午後 1 時 30 分～午後 5 時

場所：香川県環境保全公社会議室

内容：全国ネット職員による、香川県センター職員に対しての A02-01「持てるかな？エネルギーのかばん」、A12-01「かくかくしかじかおんだんか」の実施と解説

を行った。また、香川県センターが上記のツールのコピーを制作する場合の制作方法などについても指導を行った。

b) 富山県センター

日時：平成 23 年 2 月 26 日（土）9 時～12 時

場所：とやま環境財団議室

内容：全国ネット職員による、富山県センター職員に対してツールを使用した活動の実施と解説や、富山県センターがツールのコピーを制作する場合の制作方法などについても指導

6. 普及啓発・広報事業の推進

普及啓発・広報展開にあたっては、法人の情報誌、ホームページ、e-mail、新聞・TV・ラジオ等のマスメディアを通じて積極的に情報提供を行った。

(1) メディア、インターネットによる情報提供

国民、NPO、企業、自治体等に対し、温暖化対策に係る各種情報の提供を行うため、メディアに対して積極的に発信するとともに、メディアとのネットワークを形成し、またホームページを利用し、法人の活動情報や各種環境情報の提供を行う。

①記者発表

低炭素杯の開催・エントリー募集を平成22年11月に、一般参加募集を平成23年1月に、環境省に要請し、環境省から記者発表を行った。

②HPの立ち上げと機動的な情報提供

当法人の概要、活動、情報発信を時宜に応じて機動的に実施していくため、当法人のHPを平成23年2月に立ち上げた。



地球温暖化防止全国ネットウェブサイト
(<http://www.zenkoku-net.org>)

主なコンテンツ

- ・トピックス（情報提供）
- ・全国ネットについて
- ・ディスクロージャー
- ・会員名簿

③メーリングリストによる情報提供

地域センターの活動を支援し、地域センター間の情報共有を図るため、全国の地域センターを対象とした全国MLおよび各ブロック別のMLを立ち上げ、情報の交流および業務の効率化を図った。

（２）情報誌の発行

地球環境問題にかかる様々な情報、調査報告、寄稿などと併せ、低炭素社会構築に向け地球温暖化対策や国民、NPO、企業、自治体等の実践活動の情報提供を行うため、情報誌を創刊、発行した。



名 称：一般社団法人地球温暖化防止全国ネット情報誌「全国ネット通信」

発 行 日：平成23年1月11日

体 裁：A4 二つ折り（表カラー、中1色）

発行部数：2000部（創刊号で特別発行）

主な内容：当法人理事長・環境省地球環境審議官挨拶、うちエコ診断の説明、低炭素杯の告知、COP16報告等

（３）出前環境教室の開催

市民に対する温暖化防止学習機会の提供のため、当法人が有する人的・知的資源と資材を活用して、小中学校・高校・大学、地域団体やグループ、企業が行う地球温暖化防止に関する環境学習について、講師を派遣し、出前環境教室を開催した。

表 派遣状況一覧

No	日程	依頼元	実施場所	内容	参加者数
1	11月16日(火) 14:30-16:30	(株)ダイナックス都市環境研究所	港区立エコプラザ	「お天気キャスター森田正光さんに学ぶ地球温暖化や環境問題」内で体験学習を実施した。	60名
2	12月17日(金) 18:30-20:30	えどがわエコセンター	えどがわエコセンター会議室	連続講座の「おきがる環境講座」において、体験学習を実施した。	15名
3	12月20日(月) 14:30-16:00	國學院大學	國學院大學・大教室	選択履修科目「環境と経済」においてゲスト講師として全国ネットの活動を紹介した。	180名
4	2月18日(金) 9:30-11:00	JTB東北	東京タワー会議室	秋田市立御所野学院中学校2年生に対して、体験学習を行った。	30名

（４）温暖化防止月間行事の実施

全国ネットでは12月の温暖化防止月間の行事として、「我ら共通の未来」と題して、気候変動

に関する国際交渉の現在までの経緯や、京都議定書、前回 COP15（デンマーク）でのコペンハーゲン合意など、世界の現状と今回の COP16 のポイントをまとめた特別 展示を地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）との共催で行った。

展示場所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F

TEL：03-3407-8107／FAX：03-3407-8164

展示期間：2010 年 12 月 1 日（水）～2011 年 3 月末

開館時間：10:00～19:30（土曜日は 17:00 まで）休館

日：日月祝、毎月第 4 金曜日、年末年始



図 GEOC における展示の様子

（５）低炭素杯—低炭素地域づくり全国フォーラムの開催

次世代に向けた低炭素社会の構築のため、CO₂削減の国民運動として、学校・家庭・NPO・企業などの多様な主体が、全国各地で展開している地球温暖化防止に関する地域活動を報告し、学びあい、連携の輪を広げる“場”を提供することを目的に「低炭素杯—低炭素地域づくり全国フォーラム」をエントリー団体（４７）、一般参加者（延べ１，０００名）が参集して、平成２３年２月５日、６日に東京大学安田講堂他で開催した。

①実施体制

１）主 催：低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会

２）共 催：東京電力株式会社

トステム株式会社

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット（以下「全国ネット」）

（全国地球温暖化防止活動推進センター）

- 3) 協 賛: 佐川急便／OMソーラー／木原木材店／ポッカコーポレーション／損保ジャパン／ぎょうせい
- 4) 後 援: 環境省
- 5) 事務局: 低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会 事務局
(全国ネット、株式会社オリコム)

②実行委員会

- 委員長 小宮山 宏 (三菱総合研究所理事長)
- 副委員長 川北 秀人 (IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)
- 委員 秋元 智子 (一般社団法人地球温暖化防止全国ネット理事[埼玉県地球温暖化防止活動推進センター事務局長])
- 委員 石橋 和之 (トステム株式会社広報宣伝部長)
- 委員 岩谷 忠幸 (NPO法人気象キャスターネットワーク事務局長)
- 委員 影山 嘉宏 (東京電力株式会社執行役員環境部長)
- 委員 金谷 年展 (慶應義塾大学大学院教授)
- 委員 高橋 康夫 (環境省地球環境局地球温暖化対策課長)
- 委員 ヒュー・オリファント (ブリティッシュ・カウンシル科学・環境部長)
- 委員 マエキタ ミヤコ (サステナ代表)
- 委員 森 撰 (株式会社オルタナ代表取締役)

③事業評価委員

- 委員 松本 安生 (神奈川大学人間科学部人間科学科教授)

④審査委員会

- 委員長 小宮山 宏 (三菱総合研究所 理事長)
- 副委員長 金谷 年展 (慶應義塾大学大学院 教授)
- 委員 岩谷 忠幸 (NPO法人気象キャスターネットワーク 事務局長)
- 委員 ヒュー・オリファント (ブリティッシュ・カウンシル 科学・環境部長)
- 委員 マエキタ ミヤコ (サステナ 代表)
- 委員 松橋 隆治 (東京大学大学院 教授)
- 委員 森 撰 (株式会社オルタナ 代表取締役)
- 委員 影山 嘉宏 (東京電力株式会社 執行役員環境部長)
- 委員 鈴木 秀二郎 (トステム株式会社 執行役員社会環境推進部長)

⑤プログラム (2月5日、6日)

- 1) 活動のプレゼンテーション、審査及び表彰
- ・1日目午後: エントリー団体によるプレゼンテーション審査 (公開)

- ・ 2 日目午前：(分科会の開催)
- ・ 2 日目午後：(「低炭素杯 2011」記念シンポジウム)、表彰式の開催

2) 分科会

- ・ テーマ「地域づくりとコミュニケーション」
- ・ 第 1 会場：伝える力、広げる力（コミュニケーション力）
- ・ 第 2 会場：地域起こしと企業（地域活性化）

3) 低炭素杯 2011 記念シンポジウム（トステム提供）

- ・ テーマ「エコで快適な住まいで低炭素社会を実現しよう」
- ・ 出演者等
 - コーディネーター 赤池 学氏（㈱ユニバーサルデザイン総合研究所所長）
 - パネリスト 小宮山 宏氏（三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問）
 - 大竹 俊夫氏（トステム株式会社取締役社長）
 - 菊川 怜さん（女優）

⑥低炭素杯開催までの経緯

- ・ 8 月 2 6 日 第 1 回実行委員会
- ・ 1 0 月 1 日 ホームページ開設
- ・ 1 0 月 2 7 日 第 2 回実行委員会
- ・ 1 1 月 1 5 日 全国フォーラムへのエントリー受付開始
- ・ 1 2 月 1 5 日 エントリー受付終了
- ・ 1 2 月 2 4 日 第 1 回審査委員会
- ・ 1 月 2 4 日 第 2 回審査委員会
- ・ 2 月 5 ～ 6 日 全国フォーラムの開催（第 3 回審査委員会）
- ・ 3 月 8 日 第 3 回実行委員会

⑦全国フォーラムへのエントリーの状況

- 1) エントリーの受付状況（平成22年11月15日～12月15日）
地域センター推薦：33団体
全国窓口受付：37団体（うち、一次審査選定14団体）
- 2) 2月5日のプレゼン団体
計47団体
- 3) 審査の経過
12月…全国窓口受付分より全国フォーラム参加団体の選考
1月…全国フォーラムエントリー団体の書類選考
2月…全国フォーラム（プレゼン審査及び環境大臣賞等の選考）

⑧表彰

環境大臣賞

○グランプリ

東京都 環境NPOオフィス町内会

森の町内会（新たな仕組みによる間伐促進と森林のCO₂吸収）

○準グランプリ

大分県 大分県立日田林工高等学校 林産クラブ

「里山再生プロジェクト」竹とバークを原料としたファイアーボードの開発

鹿児島県 出水市六月田下自治会

集落全員でCO₂削減10%達成しつづける元気なエコ集落

京都府 京都府立桂高校 T A F F「地球を守る新技術の開発」班

都市を冷やせ！～温暖化・水消費を抑える緑化システムの普及～

最優秀賞

○地域でエコ賞

静岡県 静岡県立富岳館高等学校・光触媒研究班

富士山の環境を元気にする富岳館高等学校・光触媒研究班

○家庭でエコ賞

北海道 わがやの省エネコンテスト実行委員会

平成22年度「わがやの省エネコンテスト」

○グローバル賞

兵庫県 特定非営利活動法人 ワット神戸

省エネ・新エネでストップ ザ 温暖化

○コミュニケーション賞

東京都 エコ・リーグ Campus Climate Challenge 実行委員会

Campus Climate Challenge (CCC)

審査員特別賞

滋賀県 株式会社 滋賀銀行

「しがぎん琵琶湖原則」でお客様と手を携えて地球環境保全

秋田県 E N E X株式会社
地下水熱ヒートポンプを利用した菌床しいたけ栽培
香川県 ビレッジ美合館
間伐材でエコ温泉
岐阜県 高山グリーンホテル
環境にやさしいホテルをめざして

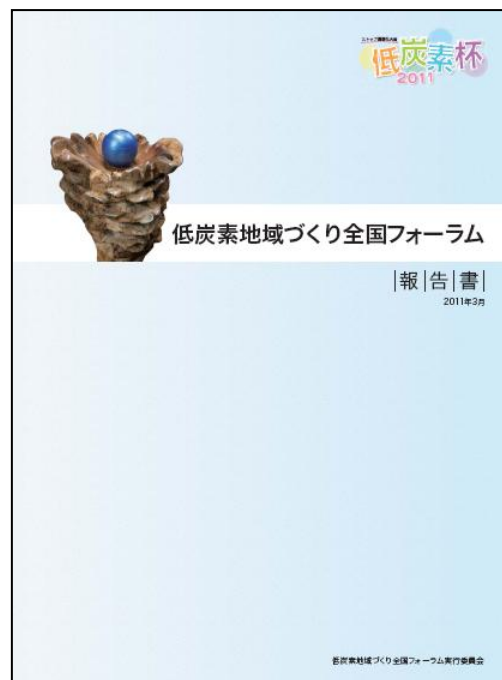
WEB投票賞

愛知県 たはらエコ・ガーデンシティー地域協議会
みんなで減らそうCO2簡単なことから1つずつ実践

優秀賞（上記受賞団体以外）

⑨報告書の作成

低炭素杯2011開催の記録を残し、低炭素杯2012につなげていくために、次に示す報告書を作成し、エントリー団体、地域センター等関係者に配布した。



7. 業務運営基盤の整備

会員、準会員、賛助会員の入会を積極的に勧め、当法人の業務運営基盤の整備に努めた。特に賛助会員については入会案内パンフレットを作成し広報を行った。



＜賛助会員案内パンフレット＞

印刷部数：5,000 部

印刷発行日：平成 22 年 10 月 28 日

体裁：A5 二つ折り（表 2 色、中 1 色）

主な配布設置場所：

全国の地域地球温暖化防止センターなど

表 会員等入会状況一覧（平成 23 年 3 月末現在）

区分		員数
会 員	正 会 員	4 3
	準 会 員	5
	賛助会員	個人 1 0
		団体 4